

67

●ひらく2. Develop

プログラム

- ①情報サービス演習：京都精華大学情報館司書による講義 資料あり
芸術系資料に関するレファレンス演習：レファレンスツールの紹介、オンライン情報源・冊子体参考資料の比較検索
- ②図書館情報資源概論・図書館サービス特論：京都国際マンガミュージアム専任司書による講義



「マンガ資料の現場から」グループワーク：「マンガ資料の種類」と「マンガを専門に扱う司書に必要な知識、技術、経験等」に関するディスカッションを実施

- ③図書館情報資源特論：京都国際マンガミュージアム・フィールドツアー



マンガ資料の取扱い（資料収集・コレクション形成・資料組織化・資料保存・利用）について学ぶために、フィールドツアーを実施

- ④情報サービス演習：情報館で配布するパスファインダーの作成 資料あり

京都精華大学情報館で学生向けに配布するパスファインダーを作成。大学に関連する10テーマを教員が設定し、学生が自由に選択する。

- ⑤京都精華大学情報館でのインターン

実施期間：2018年9月10日～9月14日 実習内容：閲覧4日 目録1日 資料あり



- ・情報館全体業務（開館作業・貸出返却・返本作業）
- ・展示業務（テーマ決め、POP作成、展示設営）
- ・レファレンス（参考図書、一般図書、雑誌、データベースを使用し、回答を作成）
- ・ILL（依頼・受付、実際に資料を探し、複写・発送まで）
- ・目録（目録作成、装備）

●学生のコメント

①情報館講義
冊子体での検索は、あたりをつければ早く確実性の高い情報にたどり着けることが分かった。
オンライン検索は検索語の選択が重要である。

⑤インターン
座学だけではなく、実際に体験できたことにより、各図書館業務の目的に対する理解が深まった。



②京都国際マンガミュージアム講義
資料をいかに残していくか、利用者が求めた資料に対する正しい情報の導き方、検索方法をしっかりと学ぶことが重要だと思った。
何かしら極めたものがあれば役に立つと思った。

●ひらく3. Open

今後の展開
芸術やマンガの知識に精通した、図書館員養成に向けたプログラムはまだ始まったばかりです。
授業後の学生のコメントを参照し、運営側でプログラム内容の検証を行うことで、共同で行う育成プログラムを構築していきたいと考えています。

designed by Hazuki Kusaka

59

